

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52101	保育原理 Principle of child care and education	寺部 直子			2	選択	1前期

**科目の概要**

保育士資格の必修科目である。幼児教育学科のディプロマポリシーの(3)の「幼児教育及び保育に関する専門職知識」である保育の本質・意義および目的、制度に関する科目である。保育士となる上で必要な基礎的な知識と考え方を案内し、保育者としての自学自習及び自己研鑽の基礎を形成することを援助する。

学修内容	到達目標
① 保育の意義・目的を学ぶ。 ② 保育の法令・制度を学ぶ。 ③ 保育の思想と歴史を学ぶ。 ④ 保育の現状と課題を学ぶ。	① 保育の意義・目的について基本的な事項が説明できる。基本的事項について自分の意見を持ち、それを伝えることができるようになる。 ② 法令・制度の概要が説明できる。特に児童福祉法、子ども子育て新制度の概要を理解した上で、待機児童問題の解決策を説明できる。 ③ 保育の思想と歴史の概要がわかり、どうして現在の制度に至ったのかを説明できる。 ④ 子ども子育て新制度の全般的な問題点と課題及び自分の住んでいる地域の問題点と課題を説明できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	毎回の小テストにむけて主体的に事前事後の学習をすることができる。 欠席した場合は、自ら進んで、翌週に欠席届を提出し、フォローレポートに関する指示を受けることができる。
	働きかけ力	課題についての疑問点等を積極的に講師に質問して解決しようとする。
	実行力	課題の〆切を守るよう計画的に学習をすすめることができる。
考え抜く力	課題発見力	講義を通して自分の地域の保育の課題を発見することができる。
	計画力	小テストや課題の〆の準備を、テスト実施日や課題提出〆切日から逆算して計画的にすすめることができる。
	創造力	講師や学友の意見を参考に自分なりに考えをまとめることができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を他人にわかるように表現しようとする。
	傾聴力	自分ならどうする等自問自答しながら読んだり聴いたりする。
	柔軟性	自分の考えと異なる意見であっても、どうしてそのように考えたのかという理由を考え、その意見を発した人が考えたプロセスを尊重することができる。
	状況把握力	保育士資格に必要な科目であることをよく考えてしっかり学ぶ。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	自分の考えと違う考えがあるのは当然であるという認識を持つことができる。

**テキスト及び参考文献**

豊田和子『実践を創造する 保育原理』（みらい）2310円、講師が配布するプリント。

**他科目との関連、資格との関連**

資格との関連：保育士（准学校心理士）  
他科目との関連：他の科目へ「入門」となる「基礎」的な科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
1) 保育を学ぶにあたって「入門」的な科目である。講義の内容に関わらず、日頃、保育に関して疑問に思っていること等もミニレポート等で積極的に質問していただきたい。必要に応じてコメントしたり、講義で説明する。 2) Google classroomを多に利用して講義を進める。使い方については初回の講義で説明するが、利用の仕方等でわからないことは遠慮せず質問していただきたい。	1) 小テスト、課題提出等は、Google class roomを使用するが多い。利用が難しい場合は早めに申し出ること。 2) わからないこと、困ったこと等については、講義の前後の時間や、Google class roomの機能を利用するなどして講師に積極的に質問すること。講師のミスや思い違いについても積極的に指摘していただきたい。 3) 単位に関わることをクラスメイトに聞かれても「先生が先生以外の人は答えてはいけないと言っていた」と答えること。疑問点は、必ず自分で講師に質問する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		40	①	✓	1 復習テスト練習版（≠切までに受験すると10点）講義終了後にGoogleclassroomで配信される。最後の講義の日までは何度でも受験できる。学修記録ノートに必ず受験した日時と点数を記録し、間違った問題については正解を記録する。
					②	✓	2 復習テスト最終版（30点満点）次の講義の終了後に配信。その日のうちに受験する。一度しか受験できない。このテストの点数は記録され、その平均点が学修成果として期末の成績に反映される。≠切以降の受験については、欠席者以外は、60%以上の得点で18点、60パーセント未満の場合は0点とする。テストではなく、アンケートや調査報告の場合もあるが、≠切以降の提出についてはテストと同様の配点となる。
					③	✓	
					④		
		レポート		10	①	✓	1 講義後レポート（10点） 1) 講義中に指示された内容について 2) 講義をうけて「わかったこと」 3) 講義をうけても「わからなかったこと」とそれに対処して「自分なりに考えたこと」 4) 上記以外のことについて質問・感想などを、講義中に配布された紙またはclassroomで配信されたフォーム等に記入して講義終了時に提出する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓	1 学修記録ノートの提出（40点） 1) 講義の概要の記録（内容については講義で指示する）。 2) 講義の復習の記録。 1:前回のミニレポートも含め、講義中に配布されたプリント（資料）があれば必要事項を記入した上でノートに貼る。 2:講義後に配信されたスライドを見て、指示されたことをノートにまとめ、それにかかった時間を記録する。 3:配信された復習テスト練習版を受験した日時と点数を記録し、間違えた問題についてはノートに問題と正解を記録し、それにかかった時間も記録する。 復習テストではなく、アンケートやレポートが送信された場合には、その概要とかがった時間を記録する。 3)講義の予習の記録 講義中に指示された予習をし、その概要とかがった時間を記録する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	講義への取り組み、特にノートを中心に採点する。（1、2一各3点、3、4一各2点） 1（規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 （主体性）わからないこと、困ったことなどについて、問題を解決する為に自ら進んで講師に質問することができる。 2（実行力）課題の≠切を守れるよう計画的に学習をすすめることができる。（計画力）小テストや課題の為の準備を、テスト実施日や課題提出≠切日から逆算して計画的にすすめることができる。 3（課題発見力）講義を通して自分の地域の保育の課題を発見することができる。（創造力）講師や学友の意見を参考に自分なりに考えをまとめることができる。 4（発信力）自分の意見を他人にわかるように表現しようとする。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>*到達レベルAの基準</p> <p>①保育の意義及び目的について講義内容をすべて理解し、それを他者に伝えられるようになっている。</p> <p>②保育に関する基本的な法令の名前とその概略について講義で解説されたことをすべて理解し、現在の保育制度の基本的な事項について理解し、それを他者に説明できるようになっている。</p> <p>③保育所保育指針における保育の基本について講義内容をすべて理解しそれを他者に説明できるようになっている。</p> <p>④保育の思想とその制度の歴史的変遷の基礎的な事項について講義されたことをすべて理解し、他者に説明できるようになっている。</p> <p>⑤保育の現状と課題について講義されたことをすべて理解し、自分なりの意見を述べるできるようになっている。</p> <p>*到達レベルS(秀)の基準</p> <p>上記に加えて</p> <p>①全講義に出席している。</p> <p>②文章表現において、誤字脱字がなく、俗語、流行語を使用していない正確な表現ができている。</p> <p>③要点をまとめてわかりやすい文章を書くことができている。</p> <p>④自分の意見をしっかりと持って他者と議論できるレベルである。</p> <p>⑤指示された予習・復習・課題学習をした上で、さらに自ら新しい課題を発見してすすんで意欲的に学んでいる。</p>	<p>*到達レベルBの基準</p> <p>①保育の意義及び目的について基本的な事項を理解して、自分なりに表現できている。</p> <p>②保育に関する基本的な法令の名前とその概略を理解し、現在の保育制度の基本的な事項について理解し、内容を正確に表現できている。</p> <p>③保育所保育指針における保育の基本について理解し、それを正確に表現できている。</p> <p>④保育の思想とその制度の歴史的変遷の基礎的な事項について理解し、それを正確に表現できている。</p> <p>⑤保育の現状と課題について基本的なことを理解し、それを正確に表現できる。</p> <p>*到達レベルC(可)の基準</p> <p>①保育の意義及び目的について最低限必要な事項を理解している。</p> <p>②保育に関する基本的な法令の名前を知っており、現在の保育制度の基本的な事項について最低限必要なことを知っている。</p> <p>③保育所保育指針における保育の基本について理解し、それを表現できる。</p> <p>④保育の思想とその制度の歴史的変遷の基礎的な事項について概略を理解している。</p> <p>⑤保育の現状と課題について基本的なことを理解している。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	1 講義の進め方について 2 保育原理という科目について 3 社会人基礎力について 4 Googleクラスルームへの登録、使い方の説明 5 講師からの質問 *再履修者も必ず出席すること。	講師のプレゼン(スライド利用)と質問(アンケート)への応答(スマホまたはパソコンでGoogleクラスルームを利用する)。 *充電されたスマホまたはノートパソコン、iPadを持参すること。	Googleクラスルームに登録でき、フォームを送信できる。 少子化問題の原因の一つに子育てコストの問題があることが理解できるようになる。	(復習) 配布されたプリントに必要事項を記入し、ノートに貼る。 (予習) 次回学修内容に関する教科書の記述(「第2章現代社会とこどもの育ち」)を読む。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	1 前回の振り返りと補足説明 2 現代社会と子どもの育ち 1) 少子化社会の問題 2) 20歳未満の妊娠と児童虐待問題 3 児童福祉制度・施設について 保育所とはどんな施設か	前回提出したミニレポートの集計結果の提示を受けて、その結果になった理由を受講生なりに考察する。子育てコスト、保育所の機能、保育を必要とする条件についての講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。講義後復習テストを配信する。	少子化問題の原因の一つに子育てコストの問題があることが理解できるようになる。保育所入所の為には条件があることを知っている。	(復習) 1) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。2) 復習用小テストを受験し、間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞ (予習) 保育所保育指針の指定された箇所をノートに記入する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	1 復習テスト講評・補足説明 2 保育所・保育士の役割・責任 3 「保育の必要」はどのように認定されるのか。	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	保育所・保育士の役割・責任については、「児童福祉法」「保育所保育指針」に書いてあることを知っており、その概要について説明できる。	(復習) 1) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。2) 復習用小テストを受験し、間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞ (予習課題) 待機児童の一番多い年齢について調べる。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
4	1 前回の復習 2 「保育の必要」の認定と利用できる保育施設の種類の種類	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	保育所入所の条件を6つ以上言える。保育を必要とする認定されなければ入れない国の認可施設は保育所と幼保連携型認定こども園であることを知っている。	(復習) 1) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。2) 復習用小テストを受験し、間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞ (予習課題) 子ども子育て新制度の概要を調べる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	1 前回の復習 2 子ども子育て新制度の概要 3 3歳以上の待機児童を減らすための対策について 4 幼稚園・保育所・こども園の違いについて(前編)	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	子ども子育て新制度がスタートしていることを知っている。幼稚園、保育所のほかに認定こども園があり、4つの種類があることを知っており、それぞれの名称を2つ以上いうことができる。	(復習) 1) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。2) 復習用小テストを受験し、間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞ (予習課題) 幼稚園・保育所・こども園の違いについて調べる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	1 前回の復習 2 幼稚園・保育所・こども園の違いについて(後編)	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	幼稚園と保育所、こども園は、根拠法、所管、対象年齢、対象、設置者、保育教育内容の基準、保育時間、保育者の名称・配置基準等において違いがあることを知っており、当日学んだことの6割以上について説明できる。	(復習) 1) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。2) 復習用小テストを受験し、間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞ (復習課題) 幼稚園・保育所・こども園の違いについて整理する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	1 前回の復習 2 3歳未満児の待機児童対策としての地域型保育事業の概要と問題点	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	地域型保育事業が、3歳未満児の待機児童対策として設置されたことを知っている。地域型保育事業に4つの種類があることを知っており、その違いが説明できる。小規模保育事業にA・B・C型があることを知っており、その違いが保育者の資格と人数の割合の違いであることを知っている。	(復習) 1) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。 (復習課題) 幼稚園・保育所・こども園の違いについて整理し、提出用プリントを完成させ、地域型保育事業について整理し、提出用プリントを完成させる。＜復習の時間を記入する＞	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	(課題) 自分の住んでいる(住んでいた)市町村(区)の幼稚園・保育所・こども園・地域型保育事業の数を、県や市町村のホームページを閲覧して調べ、配信された課題を完成させる。	(第二情報室を使用)講師の説明を受けて課題に関する情報の調べ方を理解した上で、課題を完成させ、提出する。不明な点については講義中やクラスルームのチャット等で講師に質問をして解決する。	指定された事項を過不足なく提出用のファイルに記入し、最終〆切までに提出する。	(復習) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。配信された小テストを受験し間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	1 復習テストの実施 2 幼児教育制度が始まる前の幼児の実態について 3 フランス・イギリスの幼児教育制度の始まり	講師のプレゼンを受けて、授業中クラスルームからアンケートに答える。また、講義内で講師の質問に対するレポートを作成し、提出する。わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	世界最初の保育施設がオーベルランの「編み物学校」だと知っている。この施設がフランスの保育制度の端緒となったことを知っている。イギリスにおいては、ロバート・オーエンの「性格形成新学院」が保育制度の端緒となったが、制度化されたときにはオーエンの理想とは異なるものであったと知っている。	(復習) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。配信された復習テストを受験し、間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞(予習課題) フレーベル、日本の幼稚園の始まりについて調べる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	1 前回の復習 2 日本の幼稚園のもとになったフレーベルのキンダーガッテン	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	フレーベルのキンダーガッテンが日本の幼稚園のもとになったということを知っている。フレーベルの恩物遊びが、日本の幼稚園での遊びを通して教育する方針のもとになったことを知っている。恩物の種類をいくつか言える。	(復習) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。配信された復習テストを受験する。間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞(復習予習課題) 保育の歴史年表を教科書をみて完成させる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	1 前回の復習 2 日本初の幼稚園について 3 日本初の託児所について	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	日本最初の幼稚園、保育所について、その名前、創設に尽力した人の職業や名前を知っている。	(復習) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。配信された復習テストを受験する。間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞(復習予習課題) 保育の歴史年表を教科書をみて完成させる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	1 前回の復習 2 明治・大正時代の託児所 3 二葉「保育園」の誕生 4 幼稚園に関する法令について	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	二葉幼稚園が保育園になった経緯について説明できる。戦前は幼稚園教育に関する法律はあったが、託児所に関してはなかったことを知っている。	(復習) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。配信された復習テストを受験する。間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞(復習予習課題) 保育の歴史年表を教科書をみて完成させる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	1 前回の復習 2 戦争と託児所 3 戦後の改革	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	昭和10年代に託児所の数が増えた理由が戦争によるものであることを知っている。戦後に幼稚園は学校教育法、保育所が児童福祉法を根拠とすることになったことを知っている。	(復習) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。配信された復習テストを受験する。間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞(復習予習課題) 保育の歴史年表を教科書をみて完成させる。翌週のテストに備えて勉強する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	2 昭和30年代～平成の保育所・幼稚園の変遷	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	幼稚園教育要領が誕生したのが戦後であることを知っている。昭和30年代の幼稚園教育要領が問題になったことを知っている。平成年間に保育士の資格が国家資格化されたり、保育所保育指針が「通知」から「告示」に変化したことを知っている。認定こども園が平成に誕生したことを知っている。	(復習) 当日の講義のプレゼンのPDFと復習用プリントを確認し、自分のノートと照らしあわせ、ノートの不足分を記入する。配信された復習テストを受験する。間違ったところを教科書やノートを見て復習する。満点がとれるようになるまで何度も受験する。＜復習の時間を記入する＞	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	1 小テストの実施・答え合わせ・解説 2 保育士の仕事について(まとめ) 3 保育施設調べについて(まとめ) 課題の解説	講師のプレゼンを受けて、わかったこと、わからなかったことをレポートに書いて提出する。	待機児童は減少していることを知っており、今後の保育の課題について、一般的な意見を述べることができる。(待機児童は増加していると述べた場合は単位認定できない。)	(復習) すべての講義を振り返り、ノートを整理し、配信された課題の答えを記入した上で、め切までに提出する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力